

一足先に上海万博

～上海と中国の本～

5月1日から10月31日まで、中国で万博（上海国際博覧会）が開かれます。万博は2005年に愛知県で開催されたのでおなじみの方が多いと思います。お隣の国・中国に関する本を手にとるのによい機会ですね。

展示資料の一部をご紹介します。

上海万博

5年前の愛知万博以来の万国博覧会で、184日の会期中に7000万人の来場が予想される過去最大の博覧会です。上海市中央を流れる黄浦河（こうほこう）沿いに設けられた会場には、日本のパビリオンも出展されます。

名古屋市の日である8月8日（まるはちの日）前後には、日本館のステージにおいて名古屋市を紹介するイベントも開催予定です。HPをのぞいてみましょう。

- ・上海万博公式サイト（日本語） <http://jp.expo2010.cn/>
- ・上海万博日本館公式サイト <http://www.expo-japan.jp/jp/>
- ・上海万博日本産業館公式サイト <http://www.shanghai-expo-sangyokan.jp/>

中国を知る

中国全体を知るには、こんな本があります。

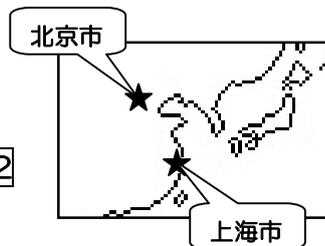
- ・『世界の子どもたちはいま1：中国の子どもたち』（学習研究社）2000 **児童 38**
- ・『中国と出会おう（国際理解ハンドブック）』（国土社）2000 **児童 30**
- ・『きみにもできる国際交流1：中国』（偕成社）1999 **児童 30**
- ・『世界の中学生1：中国の中学生』（学習研究社）2003 **児童 37**
- ・『中国（ナショナルジオグラフィック世界の国）』（ほるぷ出版）2007 **児童 292**
- 以上は学習の教材として使える中国の入門書。
- ・『現代中国を知るための60章』（明石書店）2003 **3022**
- ・『中国（図解雑学）』（ナツメ社）2004 **3022**
- ・『貝と羊の中国人』 加藤徹/著（新潮新書）2006 **3022**
- 中国をホンネ（商業）とタテマエ（儒教）でとらえるユニークな文化論。
- ・『中国（読んで旅する世界の歴史と文化）』（新潮社）1993 **2922**
- 出版年が少し古いですが、中国の主要都市・歴史・文学・工芸・音楽などを把握できる便利な1冊。
- ・『中国の暮らしと文化を知るための40章』（明石書店）2005 **3822**
- ・『対日関係を知る事典 新版』（平凡社）2007 **3191**
- 日中関係の歴史について、p203～詳しい解説があります。
- ・『日中関係：戦後から新時代へ』 毛利和子/著（岩波新書）2006 **3191**

分類記号です。本の内容にもとづいた記号で、本の背のラベルの数字です。本のある棚の位置も示しています。

激動する中国

変化の激しい中国の今を知る本です。

- ・『中国のいまがわかる本』 上村幸治/著（岩波ジュニア新書）2006 3022
-高校生にも読みやすい、これからの日中関係を考える本。
- ・『最新図解中国情報地図』 孔健/編（河出書房新社）2009 3022
- ・『奔流中国21』 朝日新聞/著（朝日新聞出版）2008 3022
- ・『膨張中国』 読売新聞中国取材団/著（中公新書）2006 3022
- ・『大中華圏』 渡辺利夫/編（岩波書店）2004 3022
- ・『中国情報源 2008-2009』 21世紀中国総研/編（蒼蒼社）2008 3022
-現在の中国に関する図書・雑誌・ウェブサイト・団体・研究者などをまとめた情報集。
- ・『ジム・ロジャーズ中国の時代』 ジム・ロジャーズ/著（日本経済新聞社）2008 3381
- ・『起業するなら中国へ行こう!』 柳田洋/著（PHP新書）2006 3322
- ・『中国農民調査』 陳桂棟/著（文藝春秋）2007 6119



中国と江南の歴史を知る

中国と上海の位置する長江下流地域の歴史を知るには、こんな本があります。

- ・『もっと知ろうよ!中国3:中国4000年の歴史』(汐文社)2003 児童30
- ・『はじめてであうアジアの歴史3:中国の歴史』(あすなる書房)1998 児童22
- ・『日本とのつながりで見えるアジア2:東アジア2』(岩崎書店)2003 児童292
- ・『中国近現代史』 小島晋治/著(岩波新書)1986 222
-アヘン戦争から文化大革命までをあつかった知識の整理に便利なコンパクトな通史。
- ・『中国の歴史10:ラストエンペラーと近代中国』 菊池秀明/著(講談社)2005 22201
- ・『中国の歴史11:巨竜の胎動』 天時慧/著(講談社)2005 22201
- ・『陳舜臣中国ライブラリー4:中国の歴史 近・現代編1・2』 陳舜臣/著(集英社)2001 91868
- ・『陳舜臣中国ライブラリー5:中国の歴史 近・現代編3・4』 陳舜臣/著(集英社)2001 91868
- ・『生活の世界歴史2:黄土を拓いた人びと』 三田村泰助/著(河出書房新社)1980 209
- ・『中国長江歴史の旅』 竹内実/著(朝日選書)2003 2922
- ・『江南:中国文雅の源流』 中砂明德/著(講談社選書メチエ)2002 222
- ・『街道をゆく19:中国・江南の道』 司馬遼太郎/著(朝日新聞社)1982 9156

上海を知る

万博が開催される上海は、1843年に南京条約により通商港として開かれ発展が始まりました。

- ・『図説上海:モダン都市の150年』 村松伸/著(河出書房新社)1998 222
- ・『上海物語:激動と混沌の街』 丸山昇/著(集英社)1987 222
- ・『上海:多国籍都市の百年』 榎本泰子/著(中公新書)2009 222

- ・『上海歴史ガイドマップ』 木之内誠/編（大修館書店）1999 2922
-急速な発展で変化する現在の上海の地図に歴史的遺産の場所と解説を重ね合わせたオリジナル地図。
- ・『フレンチ上海：東洋のパリを訪ねる』 にむらじゅんこ/著（平凡社）2006 2922
-フランス租界の現在を訪ねるガイドブック。
- ・『上海時空往来』 莊魯迅/著（平凡社）2010 2922
- ・『現代中国文化探検：四つの都市の物語』 藤井省三/著（岩波新書）1999 3022
- ・『もっと好きになっちゃった上海』 下川裕治/編（双葉社）2007 2922



中国の食生活を知る

中国の食の世界を味わってみましょう。

- ・『国際理解にやくだつNHK地球たべもの大百科1：中国』（ポプラ社）2000 児童 38
- ・『中国のごはん（絵本世界の食事8）』（農山魚村文化協会）2007 児童 38
- ・『中華美味紀行』 南條竹則/著（新潮新書）2009 59604
- ・『中国人の胃袋：日中食文化考』 張競/著（バジリコ）2008 3838
- ・『加藤千洋の中国食紀行』 加藤千洋/著（小学館）2005 3838
- ・『中国茶入門』 菊地和男/著（講談社）1998 619
- ・『中国茶と茶館の旅』 平野久美子/著（新潮社）2004 5967

中国の言葉と成語を知る

日本も中国も漢字を用いる点は共通していますが、言葉には様々な違いがあります。

- ・『もっと知ろうよ！中国1：漢字ってどこからきたの』（汐文社）2003 児童 30
- ・『もっと知ろうよ！中国2：中国のことばとくらし』（汐文社）2003 児童 30
- ・『世界の文字と言葉入門2：中国の漢字と中国語』（小峰書店）2004 児童 80
- ・『近くて遠い中国語：日本人のカンちがい』 阿辻哲次/著（中公新書）2007 820
- ・『北京のスターバックスで怒られた話』 相原茂/著（現代書館）2004 820
- ・『故事成句でたどる楽しい中国史』 井波律子/著（岩波ジュニア新書）2004 児童 22
- ・『中国名言集』 井波律子/著（岩波書店）2008 159
- ・『中国名言紀行』 堀内正範/著（文春新書）2002 824
- ・『莫邦富の中国ことわざ玉手箱：異文化を知り、ビジネスに勝つ』 莫邦富/著（時事通信社）
2010 3888

近現代の文学で知る中国

- ・『上海ベイビー』 衛慧/著（文春文庫）2001 [923](#)
-現代上海が舞台のベストセラー小説。著者は1973年生まれ。
- ・『衛慧（ウェイフェイ）みたいにクレイジー』 衛慧/著（講談社）2004 [923](#)
- ・『生きる』 余華（ユイホア）/著（角川書店）2002 [923](#)
-1940～70年中国の激動時代を生き抜いた家族の物語。
- ・『酒国』 莫言（モーイエン）/著（岩波書店）1996 [923](#)
- ・『故郷／阿Q正伝』 魯迅/著（光文社古典新訳文庫）2009 [923](#)
-日本に留学し、口語文学確立を目指した文学革命を担った魯迅の代表作をおさめる作品集。
- ・『魯迅：めざめて人はどこへ行くか』 四方田犬彦/著（プロンズ新社）1992 [児童 289](#)
- ・『伝説の日中文化サロン上海・内山書店』 太田尚樹/著（平凡社新書）2008 [2891](#)
-魯迅をはじめとする中国の文化人と交流を持ち日中交流に尽くした書店主・内山完造の物語。
- ・『上海にて』 堀田善衛/著（集英社文庫）2008 [9156](#)
-上海で敗戦を体験した作家による上海再訪時の紀行エッセイ。
- ・『上海 改版』 横光利一/著（岩波文庫）2008 [F](#)
-1925年に起きた五・三〇運動当時の上海を描いた作品。
- ・『上海の長い夜（上・下）』 鄭念/著（原書房）1998 [936](#)
-文化大革命の嵐を生き抜いた女性の物語。

ほかにもあります中国を知る本

- ・『中国56民族手帖』 松岡格/著（マガジンハウス）2008 [3822](#)
-中国は漢民族だけの国ではありません。多様な民族の衣装が楽しめる1冊。
- ・『58歳からの中国留学』 浜本寿明/著（ライフメディコム）2002 [2922](#)
- ・『中国映画：百年を描く、百年を読む』 藤井省三/著（岩波書店）2002 [7782](#)
- ・『周恩来「十九歳の東京日記」』 矢吹晋/編（小学館文庫）1999 [2892](#)
-中国の首相となる周恩来の留学先東京での若き日の記録。
- ・『三十三年の夢』 宮崎滔天/著（岩波文庫）1993 [2891](#)
-孫文と出会い中国革命を支援した宮崎滔天の33歳までの自伝。
- ・『「上海東亜同文書院」風雲録：日中共存を追い続けた五〇〇〇人のエリートたち』 西所正道/著（角川書店）2001 [3772](#)
-中国研究で知られる愛知大学の前身は、上海に設立された東亜同文書院です。
- ・『朝、上海に立ちつくす：小説東亜同文書院』 大城立裕/著（講談社）1983 [F](#)
-日中戦争下の上海で学生生活を送った日本人学生を主人公とする自伝的小説。